

Best AI Usage 部門定義 & 審査指針

部門の定義

Best AI Usage は、YouTube 広告のキャンペーンプランニング
もしくはクリエイティブ制作、またはその両方で、
Google AI もしくは 自社開発の AI を効果的に活用し、
優れたビジネス成果を達成した
革新的な YouTube 広告キャンペーンを表彰します。

評価基準

キャンペーンで達成したマーケティング成果を具体的に示す数値的結果。
AI を活用したからこそできたプランニングやクリエイティブのポイント、
目標達成に寄与した内容を根拠を含めて記載してください。
ブランドのどのような課題と AI 活用がマッチングしたのかについても
ご記載ください。

※本部門では、Google AI もしくは 自社開発の AI *を活用したキャンペーンを審査対象とします。
(*広告主・広告会社等、当該キャンペーンに関わっている企業が自社で開発・提供している AI プロダクト/
ソリューション)
※活用した AI のプロダクト名と概要を必ず明記してください。
※エントリーに際しては、以下のような数値的結果を用いて、具体的にどのような結果を出し、
マーケティング目標達成に貢献したのかを明記いただく必要があります。
マーケティング目標の例：オンライン・店舗での売上、アプリインストール、登録・購入等の直接的なコンバージョン、
ブランド・商品認知、比較検討、購入意向、検索数、コーポレートイメージの向上など)
数値的結果の例：サイト訪問数、登録や購入、CPC、CVR、CTR、EVC、CPA、CPI、View Rate、CPM など。
※ブランドリフトに関する成果を記載頂く際は、以下のうちどちらかを含めてください。
例① YouTube の提供するツールや調査を使用して得られた数値的結果
例② 自社、広告会社または調査会社のリサーチを通して得られたリフトに関する数値的結果
※その他細則については応募要項をご参照ください。

審査指針



Best AI Usage 部門
代表審査員

株式会社サイバーエージェント
AI事業本部 AIクリエイティブDiv. 統括

毛利 真崇

AI の活用は、マーケティングとクリエイティブの可能性を大きく広げています。
本部門では、AI を効果的に活用し、
革新的なアイデアでブランド課題を解決したキャンペーンを評価します。

* AI によってどのような新しい価値や体験を提供できたか
AI の独自性を活かし、従来の手法では実現できなかった顧客体験を創出したか。

* ビジネス成果への貢献度
具体的にどのような数値的結果（売上増加、認知度向上など）をもたらしたか。

* 戦略的 AI 活用
AI が単なるツールでなく、戦略や創造性に不可欠な要素として機能したか。

人間の創造性と AI の融合が生み出す、
広告の新たな地平を切り拓くキャンペーンとの出会いを楽しみにしています。